

リオンの 風

CONTENTS

トップメッセージ	1
事業別営業概況	3
新製品のご紹介	4
特集： キッズ応援プロジェクト	7
トピックス	9
連結財務データ	12
会社案内	13
株主メモ	14
音を科学する	裏表紙

第96期 第2四半期 事業報告書

2016.4.1—2016.9.30

何かと慌ただしい季節となりましたが、株主の皆さまにはご健勝のことと存じます。

当社では、2016年10月開催の取締役会において、株主の皆さまにお支払いする中間配当を、1株当たり15円とする決議をいたしましたことをご報告申し上げます。



代表取締役社長

清水 健一

第2四半期のトピック

今年度上期における当社の活動を振り返りますと、4月には、独立行政法人国際協力機構(JICA)との協働により、ベトナム最大の病床数を備える国立バックマイ病院内に「越日聴覚検査センター」を設立し、同センターへオーディオメータをはじめとした聴覚検査機器類を提供いたしました。ベトナム国内における聴覚障害者数は約100万人と推定されておりますが、これまで正確な聴覚検査は普及していませんでしたので、当社では同センターに駐在員を派遣し、検査機器の取扱いに関する指導を行うとともにベトナム全域における聴覚検査の普及活動や正しい聴覚検査による補聴器の供給の体制について支援してまいります。

また、7月には、難聴の子供たちが「障壁」を感じることなく社会生活ができることをサポートするための企画として「キッズ応援プロジェクト」を開始いたしました。これは、20歳以下で身体障害者手帳をお持ちの方を対象とした購入支援制度「ほちょうき購入サポート」をはじめ、サンリオの人気キャラクター「ハローキティ」、「ポムポムプリ

ン」と、当社オリジナル公式キャラクター「ピクシーくん」によるコラボレーションなど、子どもたちに楽しく、そして親しみを感じながら補聴器を装着していただくことを目的としております。



©1976,2016 SANRIO CO.,LTD.©

さらに、9月には、東北大学と共同で、音空間の情報を極めてリアルに集音可能な実用レベルの64チャンネル球状マイクロホンアレイシステムの開発に成功いたしました。このシステムを複数台用いることにより、たくさんの音の中から目的の音だけを抽出する技術も同時に開発しました。これにより、例えば、スポーツ競技の場で、周囲の雑音や歓声などの影響を大幅に低減した集音が可能になり、選手の会話やプレー音を鮮明にダイレクトに捉えるなど、国際的なスポーツ大会のテレビ放送などにおいて、これまでにない臨場感あふれる実況放送が期待できます。

第2四半期業績について

当社の今年度上期の業績は、連結子会社の増加により若干の増収とはなりましたが、前述のように新たな技術開発や積極的な販売促進活動等のコストの増加により、前年同期に比べると減益となりました。しかしながら長い目で見れば、これらの取り組みの成果によって、今後の業績は徐々に上向くものと見込んでおりますので、何卒ご理解を賜りたいと存じます。

株主の皆さまへ

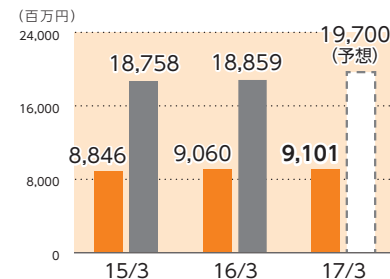
当社では、株主の皆さまを対象とした、会社見学会や補聴器講座を開催しており、9月に実施いたしました会社見学会には48名の株主様のご参加を賜りました。

11月に開催いたしました補聴器講座につきましては、応募多数の好評にお応えして、来年3月にも開催させていただくことといたしました。

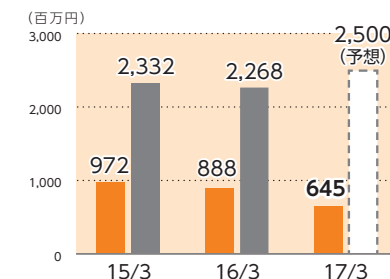
今後ともリオン株式会社に対する熱いご支援、ご声援をよろしくお願いいたします。

連結財務ハイライト ■ 第2四半期 ■ 期末

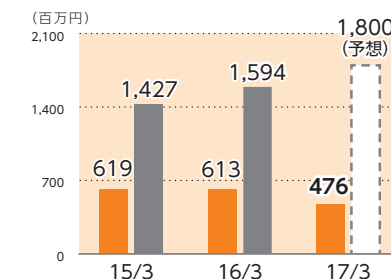
売上高



営業利益

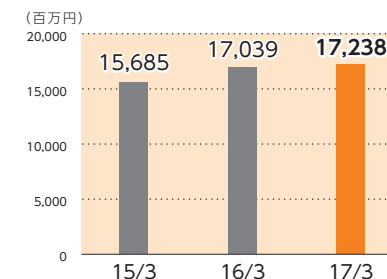


親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益

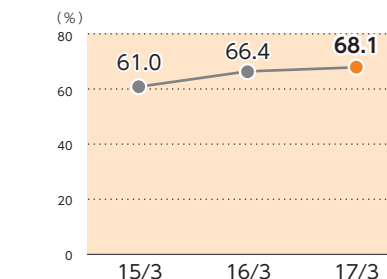


■ 第2四半期 ■ 期末

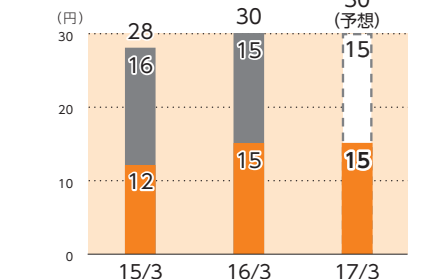
純資産



自己資本比率



配当金



本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

医療機器事業

売上高

62.8%
5,717百万円

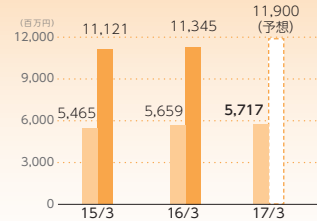
補聴器

..... 4,631百万円

医用検査機器

..... 1,086百万円

売上高



補聴器は第1四半期に販売が伸び悩んだものの、7月の新製品投入等により売上が回復。医用検査機器は買い替え需要のほか、大口の受注の獲得により販売が好調に推移しました。

環境機器事業

売上高

37.2%
3,384百万円

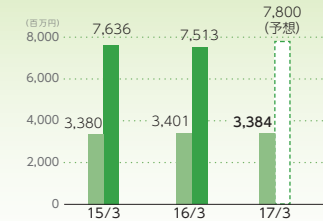
音響・振動計測器

..... 1,826百万円

微粒子計測器

..... 1,558百万円

売上高



音響・振動計測器では、騒音計や振動計の販売が堅調に推移したものの、地震計の販売が前年同期に及びませんでした。微粒子計測器は電子デバイス市場向けに液中微粒子計の販売が好調に推移しました。

売上高
9,101
(百万円)
(連結)



リオネット補聴器

聴力検査室

オーディオメータ



パーティクルカウンタ

振動計

地震計

騒音計

好評の新機能を継承したバリューモデル
デジタル補聴器「リオネットプレシアⅣ」

昨年8月に発売以来ご好評をいただいているデジタル補聴器「リオネットプレシアⅡ」。その機能を絞り込んだバリューモデルの「リオネットプレシアⅣ」を2016年7月に発売しました。

言語の聞き取りに重要な役割を果たす母音を強調し、明瞭で力強い聞こえを提供する新機能「SSS Speech+(スピーチプラス)」を「リオネットプレシアⅡ」から受け継ぎつつ、お求めやすい価格を実現しています。耳あな型オーダーメイド補聴器には、高度・重度難聴の方に向けた高出力のマイエイドタイプを追加しました。



簡単操作と省エネ設計で利便性を提供
ポケット型デジタル補聴器「HD-70」

約1,400時間の電池寿命と簡単操作による使いやすさをお手頃価格で提供するポケット型デジタル補聴器「HD-70」を2016年4月に発売しました。

「HD-70」の特長は、大きくて見やすいボリュウムの採用と、イヤホンを耳に入れてスイッチを入れるだけの簡単操作。また、単4形アルカリ乾電池1本で約1,400時間作動する省エネ設計により、電池交換の手間を軽減しました。デジタルならではのクリアな音質を保ちつつ、ピーピー音(ハウリング)を低減し、大きすぎる音をやさしく抑える機能も搭載しています。



両耳装用で1台10万円以下の低価格 耳あな型オーダーメイド補聴器「リオネット ウィー」

両耳装用の場合、1台あたり99,000円となる低価格を実現した耳あな型オーダーメイド補聴器「リオネット ウィー」を2016年7月に発売しました。

補聴器の両耳装用は、音の方向をわかりやすくしたり、騒がしい場所での会話を聞きとりやすくするなどの効果が期待できますが、2台の補聴器を購入することによる経済的な負担は小さくありません。「リオネット ウィー」は、両耳装用における販売価格を198,000円とし、1台あたり10万円を切るお求めやすさを実現。今後、両耳装用の普及に大きく貢献していくことが期待されます。



オールインワンタイプで清浄度管理の手間を軽減 液中パーティクルカウンタ「KL-30B」

最小可測粒径0.05 μ mの超純水プラント向け液中パーティクルカウンタ「KL-30B」を開発し、2016年6月から販売を開始しました。

半導体などの電子デバイス製造工場の洗浄工程では、超純水が使用されており、液中パーティクルカウンタは、超純水中の微粒子の粒径と個数濃度の清浄度管理に不可欠なものです。

「KL-30B」は、粒子検出部、表示部、流体制御部を一体化させたオールインワンタイプ。超純水の製造ラインに直接接続し、清浄度を常時監視することができます。

国内のみならず、海外の電子デバイス市場への拡販を目指しています。



小さな耳に合わせて製品を小型化・軽量化 子ども向け耳かけ型補聴器「リオネットピクシー」

高度・重度難聴の子ども向けに、高出力と小型化・軽量化を両立した耳かけ型補聴器「リオネットピクシー」を開発し、2016年7月に発売しました。

今回の製品開発では、開発チームがろう学校などの施設を訪問し、高度・重度難聴の子どもたちの補聴器の使用状況やニーズを調査しました。

その調査結果をもとに、「リオネットピクシー」の製品化においては、高度・重度難聴の聴力レベル60~120dBHLに適應する高出力を維持しつつ、子どもたちの小さな耳に装用しやすくするために、従来の当社製耳かけ型高出力補聴器に比べて、体積比25%減の小型化、重量比21%減の軽量化を実現しました。電池の誤飲を防ぐ「チャイルドロック機能」や、電池残量を視覚的に確認できる「お知らせLED」も搭載。他にも、汗と湿気に強い「耐汗コート」や耐衝撃性能の高いイヤホンの採用など、様々な角度から子どもたちの使用を考慮しています。

また、調査結果から子供たちが好む「色と形」を重視し、パステルカラーを中心に9色のバリエーションを揃え、丸みのある形状にしました。

子ども向けに特化した補聴器の発売は、当社にとって初の試み。「子どもにとって真に必要な補聴器とはなにか」を追求した「リオネットピクシー」は、補聴器としては初めてとなる、第10回キッズデザイン賞を受賞しました。



カラーバリエーション
左からくろ、ふかみどり、べーじゅ、あお、みずいろ、うすむらさき、びんく、きいろ、おれんじの9色



すべての子どもに「聞こえる」から生まれる 新しい可能性にチャレンジしてほしい。

そんな想いを込めた「キッズ応援プロジェクト」が2016年7月からスタートしました。当社はこの取り組みを通じて、国内に2万人以上いると言われる難聴の子どもたちが少ない費用負担で補聴器を装用し、楽しく暮らせるように応援していきます。

少ない負担で幅広い機種から選べる

ほちょうき購入サポート

▶ほちょうき購入サポートの詳細情報については、下記 URL をご覧ください。

<http://www.rionet.jp/kids/support/>

子どもたちが使う補聴器購入負担を軽減する「ほちょうき購入サポート」を導入しました。身体障害者手帳を持つ20歳以下の方を対象に、より幅広いラインアップの中からお希望の補聴器を障害者総合支援法の「購入基準額」で提供します。これにより、従来以上に高機能で高額な補聴器をお求めの際も、お客様は利用者負担分（購入基準額の1割）をお支払いいただくのみとなりました。たとえば、希望小売価格198,000円の補聴器の場合、これまでは137,430円が負担額でしたが、当制度の適用により負担額は6,730円となります。

難聴の子どもたちに体験型の学習機会を提供

親子で補聴器工場見学



子どもたちに補聴器をより身近に感じてもらう取り組みとして、補聴器の製造を行うリオネット株式会社（東京都八王子市）の工場見学会を開催しました。本年度は8月4日・9日に開催し、補聴器を使う小学生と保護者12組29名を工場に招待しました。

見学は、タブレット端末によるツアーガイドとともに行われ、クイズ参加や自由研究のレポート作成、耳型採取用シリコンを使ったワークショップなど、子どもたちが様々な体験を楽しめる場となりました。

学研の“まんがでよくわかるシリーズ”

「耳と補聴器のひみつ」を刊行



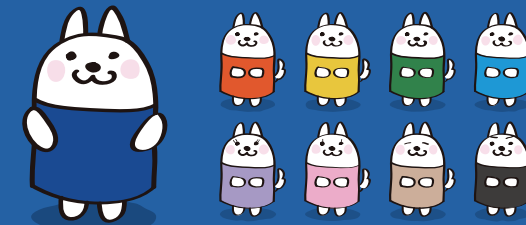
株式会社学研プラスとのタイアップにより、同社の小学生向け学習教材“まんがでよくわかるシリーズ”から「耳と補聴器のひみつ」を刊行し、全国約20,600の小学校および3,200の公共図書館に寄贈しました。

ストーリーは、小学生のサトシとスズが、音の妖精・リーノに導かれて聞こえと補聴器について学んでいくというもの。電子書籍版は学研のWebサイト「学研キッズネット」で閲覧可能です。

<https://kids.gakken.co.jp/himitsu/121/>

公式キャラクター

PIXY
ピクシーくん



リオネットピクシーから誕生したイヌのような、ロボットのような、不思議な妖精ピクシーくん。8色の仲間たちがいます。サンリオのキャラクターとのオリジナルグッズのほか、LINEクリエイターズスタンプ、リオネット補聴器公式WebサイトやFacebook等に登場するので、ぜひチェックしてみてください。

リオンの海外展開



台湾

ベトナム

現地の高齢化社会到来を見据えた市場進出

リオネット製品を台湾の眼鏡店で販売

2016年7月、台湾の最大手眼鏡店チェーンである「寶島眼鏡」の店舗にて、当社補聴器製品の販売が開始されました。取り扱い製品は、日本国内でも好評を博している「リオネットプレシアV」など当社の主力機種です。当初は4店舗で販売を開始し、今後店舗数を拡大します。

台湾における補聴器市場は、これまで補聴器専門店での販売が主流となっており、眼鏡店などでは取り扱われていませんでした。当社は「寶島眼鏡」での販売展開にあたり、オーディオメータなど聴覚検査機器を用いた補聴器調整技術の指導を行い、補聴器販売担当者のスキル向上を支援します。

ベトナム最大の国立病院との相互協力事業を開始

越日聴覚検査センターがオープン

ベトナム最大の病床数を備える、首都ハノイにある国立バックマイ病院との相互協力事業として、同院内の越日聴覚検査センター「Vietnam-Japan Audiology Center」が完成し、4月25日に開所式が行われました。

当社は2015年10月、ベトナム国内の難聴者の救済に向けた相互協力の覚書を同病院と締結しました。今回その第1弾として、開所したセンターにオーディオメータなど聴覚検査機器を提供しました。

ベトナム国内には、約100万人の聴覚障害者がいると推定されています。当社は今後、聴覚検査機器の取り扱いに関する指導を行うとともに、ベトナム全域における聴覚検査の普及活動や正しい聴覚検査による補聴器供給の体制の確立を支援していきます。



越日聴覚検査センターの開所式

周囲の雑音を抑えた臨場感ある集音が可能

「64チャンネル球状マイクロホンアレイシステム」を 東北大学と共同開発

当社は、東北大学電気通信研究所先端音情報システム研究室の坂本修一准教授らの研究グループと共同で、音空間の情報を極めてリアルに集音できる「64チャンネル球状マイクロホンアレイシステム」の開発に成功しました。

人の頭の大きさに相当する球形のきょう体に小型マイクロホンを均等に配置することで、人が実際に聞く通りのリアルさで集音できることが研究により明らかになっていました。この度、当社が開発した次世代の高性能超小型マイクロホン「MEMSエレクトレットマイクロホン」を用いることで、実用レベルのシステムが実現できました。

本システムを複数台設置し、集音の方向性を調整すれば、特定方向への感度を高めたり低くしたりでき、音源とマイクの間で別の音が発生しても、その音のエネルギーを10分の1以下に抑えることが可能です。これを活用すれば、周囲の雑音が大きい場所でも、人の会話などを明瞭に捉えることができます。

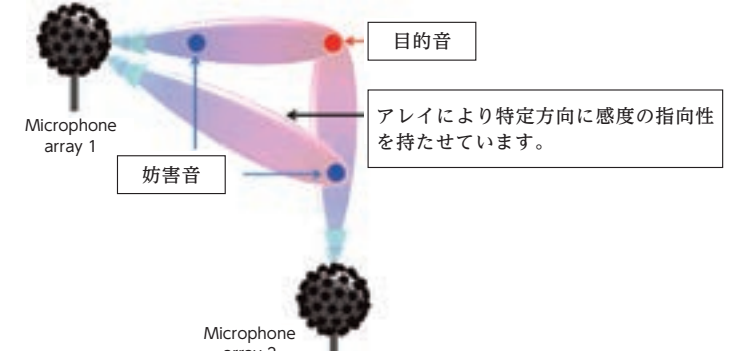
例えば、スポーツ競技の場で、周囲の雑音や歓声などの影響を大幅に低減した集音が可能になり、選手の会話やプレー音が鮮明かつダイレクトに捉えられ、国際的なスポーツ大会のテレビ放送などにおいて、これまでにない臨場感あふれる実況放送が期待できます。



100円玉の上においたMEMSエレクトレットマイクロホン
3.6mm(幅)×2.8mm(高さ)×1.3mm(厚み)



64チャンネル球状マイクロホンアレイシステム



アレイオブアレイズ(array of arrays)技術のイメージ

「日本生まれ、日本育ち。」

世界中で愛されるハローキティとコラボ

当社は、1948年に日本で初めて量産補聴器を発売して以来、湿度の高い日本の気候や日本人の耳、日本語に最適な補聴器をつくるために、「国産」であることにこだわり続けてきました。

このたび、リオネット補聴器の「国産」へのこだわりを表現し、より多くの方に訴求するために、同じく日本が生んだキャラクター、サンリオ「ハローキティ」とコラボレーションすることといたしました。

世界中で愛されているハローキティ。全国のリオネット補聴器販売店に「日本生まれ、日本育ち。」のキティちゃんのポスターやのぼりが登場します。



地方都市におけるIR活動を毎年実施

名古屋で個人投資家向け会社説明会を開催

2016年7月6日、東海東京証券株式会社の名古屋本社にて、個人投資家向け会社説明会を開催しました。当社は毎年、地方都市においてIR活動を実施し、東京以外の地域での知名度向上に努めています。

今回は、東海地方に地盤を持つ東海東京証券のネットワークを活かし、名古屋近郊から200名近くの個人投資家の皆さまにご来場いただきました。

壇上には清水社長が立ち、リオンの社名を初めて聞く方も多量中、当社の成り立ちと各製品がどのように社会の役に立っているかを中心に説明しました。参加者の方からは多くの質問があり、高齢化社会において需要が見込まれる当社事業への高い関心がうかがえました。



会社説明会の様子

主な経営成績 (百万円)

	2013年3月期 (第92期)	2014年3月期 (第93期)	2015年3月期 (第94期)	2016年3月期 (第95期)	2017年3月期第2四半期 (第96期)
売上高	17,212	18,510	18,758	18,859	9,101
営業利益	1,731	2,191	2,332	2,268	645
経常利益	1,723	2,241	2,413	2,370	680
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益	1,061	1,316	1,427	1,594	476
純資産	12,220	14,619	15,685	17,039	17,238
総資産	23,452	25,000	25,691	25,677	25,330
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,820	1,678	1,457	2,142	1,311
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 692	△ 827	△ 1,183	△ 536	△ 334
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 616	△ 451	△ 588	△ 1,274	△ 498

1株当たりデータ(円)

純資産	1,147.83	1,205.37	1,285.48	1,387.86	—
四半期(当期)純利益	101.08	112.45	117.47	129.99	38.79

主な指標(%)

自己資本比率	52.0	58.4	61.0	66.4	68.1
ROA(総資産経常利益率)	7.5	9.3	9.5	9.2	—
ROE(自己資本当期純利益率)	9.1	9.8	9.5	9.7	—
配当性向	21.8	22.2	23.8	23.1	—

➔ 詳しい財務情報は当社IRホームページをご覧ください。 <http://www.rion.co.jp/ir/>

会社案内 Corporate Data

(2016年9月30日現在)

会社概要

商号 …… リオン株式会社
 本社 …… 〒185-8533
 東京都国分寺市東元町三丁目20番41号
 創立 …… 1944年6月21日
 資本金 …… 20億1,461万円
 従業員数 …… 連結766名、単体474名
 (2016年3月31日現在)
 事業内容 …… ○ 医療機器 ・ 補聴器
 ・ 医用検査機器
 ○ 環境機器 ・ 音響・振動計測器
 ・ 微粒子計測器

株式情報

発行可能株式総数 …… 32,000,000株
 発行済株式総数 …… 12,294,400株
 総株主数 …… 5,860名

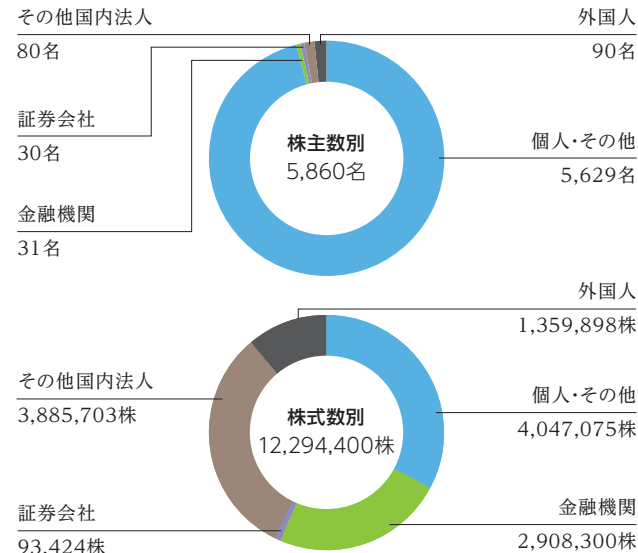
大株主

株主名	所有株数(株)	持株比率(%)
一般財団法人小林理学研究所	3,130,700	25.46
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	615,000	5.00
リオン取引先持株会	543,100	4.42
株式会社みずほ銀行	490,000	3.99
BNP-PARIBAS SECURITIES SERVICES LUXEMBOURG/JASDEC/FIM/LUXEMBOURG FUNDS/UCITS ASSETS	420,000	3.42
リオン従業員持株会	240,200	1.95
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505001	214,000	1.74
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	205,700	1.67
三井住友信託銀行株式会社	200,000	1.63
株式会社三菱東京UFJ銀行	175,000	1.42

取締役及び監査役

代表取締役社長 …… 清水 健一
 取締役会長 …… 井上 清恆
 常務取締役 …… 大内 武彦
 取締役 …… 岩橋 清勝
 取締役 …… 若林 友晴
 社外取締役(独立役員) …… 築野 元則
 社外取締役(独立役員) …… 河口 正人
 社外取締役(独立役員) …… 三入 稔
 常勤監査役 …… 山内 和臣
 社外監査役(独立役員) …… 石谷 勉
 社外監査役(独立役員) …… 佐久間 善弘

株式分布状況



株主メモ Stock Information

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月下旬
基準日	定時株主総会・期末配当 毎年3月31日 中間配当 毎年9月30日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先(電話照会先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031(フリーダイヤル) 取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店及び全国各支店で行っております。
住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について	株主様の口座のある証券会社にお申し出ください。 なお、株券電子化の際、株券を証券会社の口座に入庫しなかったなどの理由により、特別口座において管理されている株式につきましては、三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。
未払配当金の支払について	株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

株主の皆さまへのお知らせ

株主の皆さまのご意見を今後の経営及びIR活動に役立てていくため、昨年に引き続きアンケートを実施いたします。お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願い申し上げます。

また、株主様向けのイベントとしてご好評をいただいている「はじめての補聴器講座」につきまして、2017年3月に第2回の開催が決定いたしました。詳細につきましては同封のご案内状・アンケート用紙をご覧ください。

※アンケート及びはじめての補聴器講座へのご参加は、単元株主の方に限定させていただきます。アンケートにご回答いただいた株主様に、1,000円分の図書カードを贈呈させていただきます。

締切日 2017年1月31日



音を科学する

「音」を科学することで
様々な製品を
生み出してきたリオン。
このコーナーでは
「音」の不思議な力、
素朴な疑問を
紐解いていきます。

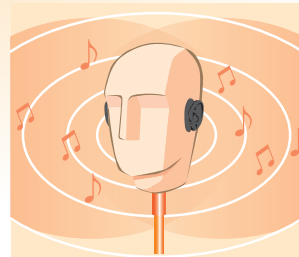
両耳効果とダミーヘッド録音

人は顔の左右についている耳で音を聴いています。二つの耳が捉える微妙な差を脳が処理することで、音の立体感や奥行き、拡がり、方向などを感じることができ、これを「両耳効果」と呼びます。

オーディオ機器のステレオ録音・再生は、両耳効果を利用したもので、録音の際には、二つのマイクロホンを使用し、それを再生する際は、左右の耳用の二つが一組になったヘッドホンやスピーカーから左右個別の音を送り出します。しかし、ステレオ録音のマイクロホンと人の耳を比較すると、人の耳には耳たぶがあり、両耳の間には頭部が存在するなど、同じ条件ではありません。

そこで、実際の人の耳に近い条件を二つのマイクロホンに対して擬似的に作り出し、録音する手法が考案されました。それが「ダミーヘッド録音」です。人の頭部を模したマネキンの耳の位置にマイクロホンを埋め込んで録音するもので、この手法で録音された音には、通常のステレオ録音以上の臨場感があります。

今日の音楽ソフトは、ステレオで録音されたものがほとんどです。簡単なラジカセでも二つのスピーカーを備えた機器が普及していますが、スピーカーから放射された音では、耳に届くまでに音の個性が失われ、本来の両耳効果を得にくくなります。右耳用の音を右耳で、左耳用の音を左耳で聞くには、イヤホンやヘッドホンを使って直接的に音を聞く方法が好ましいと言えます。



監修：工学博士 山下充康 出典：『謎解き音響学』（丸善）

株主優待制度のご案内

期末配当基準日(3月31日)現在の株主様を対象に株主優待を実施しております。

ジェフグルメカード(食事券)



100株以上 ▶	500円分
500株以上 ▶	1,500円分
1,000株以上 ▶	3,000円分
5,000株以上 ▶	5,000円分
10,000株以上 ▶	10,000円分

リオネット補聴器購入割引券



100株以上
※ メーカー希望小売価格の10%割引
(片耳購入の場合は1台分)
(両耳同時購入の場合は2台分)
有効期間：1年間

リオン株式会社 〒185-8533 東京都国分寺市東元町3-20-41
TEL.042-359-7830(リオン株式会社 IR広報部)

<http://www.rion.co.jp>

UD FONT

見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

